

2025年成果報告書

概要



三大感染症対策の現状と2024年の主な成果

2024年、グローバルファンドのパートナーシップは引き続き、エイズ、結核、マラリアとの闘いにおいて確実に前進を続けました。グローバルファンドが支援する国々では、2002年以来、三疾患合わせた罹患率は42%、死亡率は63%減少し、7000万の命が救われました。しかし、20年近く進歩を続けてきたグローバルヘルスは、危機に瀕しています。国際援助資金の減少によって、エイズ、結核、マラリアとの闘いに加え、世界の健康安全保障は脅かされています。この課題に取り組むためには、賢明な投資、大胆で新しい発想、そして、これらの疾病を公衆衛生の脅威として終息させるという共通のコミットメントが求められています。



HIV/エイズ

グローバルファンドは、国際的なエイズ対策支援資金の26%を提供しています。2024年には、グローバルファンドが支援する国々でHIV陽性者の88%が自分の感染を知っており、79%が抗レトロウイルス治療を受け、74%がウイルス量の抑制を達成しました。妊娠中のHIV陽性者の85%が抗レトロウイルス治療を受けていました。こうした数値は、それぞれの指標の記録として過去最高の水準です。グローバルファンドは、最もリスクの高い人々の支援に重点を置き、エイズ関連サービスの利用を妨げる障壁を取り除き、コミュニティ主導の対応を強化し、HIV陽性者に合わせたケアを提供するとともに、治療への公平なアクセスの拡大に向けて取り組んでいます。こうした取り組みにより、2002年以来、死亡率は82%、罹患率は73%減少しました。



結核

グローバルファンドは、国際的な結核対策資金の73%を提供しています。2023年には、グローバルファンドが支援する国々で結核治療のカバー率（全種類）が過去最高の75%に達し、薬剤耐性結核患者の44%が治療を開始しました。治療を開始した結核患者の88%は治療に成功し、結核に罹患したHIV陽性者の91%は抗レトロウイルス治療を受けました。予防・検査・治療サービスへの公平なアクセスの提供、「見逃された」結核患者の発見と治療、薬剤耐性結核との闘い、そして結核対策の関連製品の価格低減に努めたことにより、2002年以来、死亡率は57%、罹患率は28%減少しました。



マラリア

グローバルファンドは、国際的なマラリア対策資金の59%を提供しています。2023年には、支援する国々における殺虫剤処理蚊帳の普及率は61%に達し、感染リスクが高い人々の53%が蚊帳へアクセスすることができました。こうした数値は過去最高の水準です。また、マラリアへの感染が疑われる人々の95%超が検査を受けました。コミュニティ・ヘルスワーカーの活動や地域主導の取り組みの支援、検査・治療・予防へのアクセスの促進、二重有効成分を持つ殺虫剤処理蚊帳の普及拡大、さらに薬剤・殺虫剤耐性への対策などの成果として、2002年以来、死亡率は51%、罹患率は26%減少しました。

主要な成果

2560万人

抗レトロウイルス治療を受けているHIV陽性者数

4660万件

HIV検査実施数（うち1170万件は優先度の高い人々/キーポピュレーション）

1230万人

エイズ予防サービスを受けた人数（うち770万人はキーポピュレーション）

64万8000人

自らの命と母子感染予防のために医療を受けたHIV陽性の母親の数

140万人

抗レトロウイルス薬による曝露前予防を受けた人数

740万人

結核治療を受けた人数

12万人

薬剤耐性結核の治療を受けた人数

31万7000人

結核治療中に抗レトロウイルス治療を受けたHIV陽性結核患者数

220万人

結核の予防的治療を開始した抗レトロウイルス治療中のHIV陽性者数

340万人

結核に曝露し予防的治療を受けた人数

1億6200万張

マラリア予防のために配布された殺虫剤処理蚊帳の数

3億6000万件

マラリアが疑われる症例の検査数

1億7300万件

治療したマラリアの件数

5090万人

季節性マラリアの化学的予防（服薬）を受けた子どもの数

1780万人

マラリアの予防治療を受けた妊婦の数

サービス・カバー率、成果、疾病負担の数値は、WHO（結核とマラリアについて2024年発表）およびUNAIDS（2025年発表）による最新データに基づいています。マラリアを予防する蚊帳のカバー率は、WHO/Malaria Atlas Projectによるアフリカ38か国の推定データをもとに算出しました。プログラムの成果は、グローバルファンドが支援する国々や地域で2024年に達成されたものです。詳細は、グローバルファンドのResults Methodologyをご参照ください。

世界の健康安全保障の強化

グローバルファンドは、100カ国以上で保健システムや疾病サーベイランスに投資し、世界中で新たな感染症の発生を検知・追跡し、封じ込める取り組みを支えています。2024年にはこれらの分野に27億米ドルを投資しました。2024年から2026年にかけて予定している総額61億米ドルの一部であり、前回の事業実施期間から49%増となりました。これは、グローバルファンドの保健システムへの投資として過去最高額です。グローバルファンドは、パンデミックへの備えと対応の強化するための国際援助資金を供与する最大の機関となっています。

エイズ、結核、マラリア対策を強化するため、2024年も検査機関と診断ネットワークの強化に継続して投資しました。疾病サーベイランスの拡充、サプライチェーンの更なる強靱化、コミュニティ主導の保健サービスの強化、そしてヘルスワーカーのトレーニングにも取り組みました。こうした投資は、感染症の発生に備え、効果的に対応できるように支援し、世界の健康安全保障の基盤強化にも繋がっています。



ギニア・ビサウの首都ビサウにて、患者の検体を検査機関に運ぶアルフィセーヌ・カンデさんとアブドゥライエ・バルデさん(手前)。グローバルファンドはパートナーと協力し、西アフリカ諸国で疾病サーベイランスと検査システムの強化と拡大に取り組んでいます。

The Global Fund/Sylvain Cherkaoui/Panos

¹承認および調印済みの第7次事業実施期間の予算に基づき、C19RMを含みます。この金額には、強靱で持続可能な保健システム(RSSH)への直接的な投資とエイズ、結核、マラリア対策を通じたRSSHへの投資を含みます。触媒的投資と事務局の運営費は除外しています。

今後の展望

2025年は、グローバルファンドの第8次増資の年であり、グローバルヘルスの未来を左右する重要な節目となります。この増資は、エイズ、結核、マラリアとの闘いの勢いを維持し、これまでの20年にわたる進展を覆しかねない、三大感染症の再燃を防ぐ上でも不可欠です。迅速かつ重点的な投資がなければ、人々や社会、経済に甚大な被害をもたらす恐れがあります。

グローバルファンドのパートナーシップへの投資は、感染症対策において世界で最も効果的な仕組みのひとつを支援することを意味します。調達した資金はすべて、保健衛生における重要な成果をもたらし、経済的リターンを生み、卓越した費用対効果を実現します。グローバルファンドは、急速に変化する世界情勢に適応するため、進化を続けています。現在の厳しい状況を乗り越え、成果を上げるためには、国際社会がグローバルヘルスへの決意を新たにすることが不可欠です。今こそ力を合わせて、これまでに築き上げた成果を守り、さらに数百万の命を救い、エイズ、結核、マラリアのない未来を目指して行動する時です。



ナイジェリアのカドゥナ州では、ウミ・イマワさんと娘のアミちゃんが、自宅で二重有効成分を用いた殺虫剤処理蚊帳の中で過ごしています。グローバルファンドが支援するプログラムは、こうした母子を含む数百万もの人々をマラリアから守っています。

The Global Fund/Andrew Esiebo

グローバルファンドとは

グローバルファンドは、エイズ、結核、マラリアの流行を終息させ、すべての人に健康かつ安全で、より公平な未来を築くための世界的なパートナーシップです。年間最大50億米ドルの資金を調達し、最も深刻な影響を受ける100カ国以上において、三大感染症対策、保健システムの強化、パンデミックへの備えに投資しています。2002年以来、グローバルファンドのパートナーシップの支援により7000万の命が救われました。

2025年9月 | theglobalfund.org